



かけはし

VOL.6
2023年
AUTUMN

SOO MEDICAL ASSOCIATION HOSPITAL

 曾於医師会立病院からのお便り

医療を通じて地域に貢献します

特集

乳腺外科 乳がんの早期発見と
自己触診の重要性

臨床検査技室 業務内容紹介

**サイバーセキュリティ対策と
今後の取り組み**

表紙の写真は

コスモスロード

志布志市有明町

乳腺外科より ～ 乳癌の早期発見と自己触診の重要性 ～

乳腺外科 新田 吉陽

日頃より当院の診療にご協力いただき、誠にありがとうございます。

非常勤として乳腺外科を担当しております、新田吉陽(しんでんよしあき)と申します。

日本では1年間で10万人弱の方が乳癌になっています。女性の癌で最も多いのが乳癌で、近年でも増加傾向にあります。現在では日本人女性の8～9人に1人が一生のうちで乳癌にかかると言われていています。ご家族に乳癌の方がおられることも決して珍しくはないでしょうし、そのことを過度に恐れる必要はありませんが、早期発見のために必要な対策をとることが重要です。時々有名人が乳癌になってニュースになることがありますが、乳癌は若い人だけの病気ではありません。高齢者の乳癌も増加していますので油断は禁物です。乳癌は早期発見するほど、治療の負担が少なくなり、かつ治る可能性も高くなりますので、早期発見することがとても大切になります。

早期発見のために、日頃から自分の乳房を意識する生活習慣を心がけましょう。入浴の際に鏡で見たり、自



新田先生は現在、鹿児島大学病院 乳腺甲状腺外科で乳腺部門のチーフを務められています。

当院では非常勤医として乳腺外科の診療(診断、手術、抗がん剤治療)を行っていただいています。



己触診をしたりして自分の乳房の状態を知ること、そして変化に気づくことが大切です。しこりがある、皮膚が引きつれている、乳頭から出血しているなどの変化に気が付いたらすぐに近くの医療機関に相談しましょう。

一方で乳がんは自覚症状がないことも多く、知らず知らずに進行することもありますので、症状がない場合でも定期的に検診を受けることが大切です。実は日本の乳癌検診の受診率は欧米に比べて低いのが現状です。皆さんのところにも自治体から無料クーポン券が発行されていると思います。ご自分の命を守るためにも積極的に検診も利用して早期発見に努めていただきたいと思います。

先日、ある芸能人が男性乳癌と診断されたことがニュースになりました。女性の100分の1以下と非常に稀ではありますが、男性も乳癌になることがあります。男性に対する乳癌検診は行われていませんが、男性の胸は薄いため小さいしこりでもわかりやすいことが多いです。男性も時々胸を触って、しこりが出来ていないかどうかを確認することが有効です。乳癌のしこりは触っても痛くないことがほとんどですので、油断しないようにしましょう。

当院では乳腺専門医が診断から治療まで対応します。最新の情報に基づいて、患者様一人一人に最適な治療を提案し、必要に応じて他施設と連携して診療にあたっています。日頃から自分の身体を気にかけてあげてください。困ったことがあれば受診していただければと思います。

乳がんの

セルフチェックをしてみましょう

～いつからでも定期的にすることが大切です～

 CHECK 1: 見て

鏡の前に立ち頭の後ろで手を組み、色や形を見てください。「くぼみ・ふくらみ」、「ただれ・変色」、「引きつれ」はありませんか？
乳頭を軽くつまんで分泌液が出ないか確認しましょう。

 CHECK 2: 触って

ボディソープなどで滑りを良くし、4本指で「の」の字に動かしながら指先で軽くなでるようにしこりや皮膚の異常の有無を確認しましょう。

 CHECK 3: 横になって

仰向けに寝て、背中の下に低めの枕か畳んだタオルを入れて、乳房をさわって、しこりがないか確認しましょう。

ワンポイント!



月に1回、決まった時期に乳房に触れることで、何か異常があった場合に見つけやすくなります。異常を感じたら、かかりつけ医に相談し、乳腺外科を受診してください。

臨床検査室 ～臨床検査技師の業務紹介～

臨床検査技師長 宮崎 知利

私は名古屋で臨床検査技師になりました。地元に戻り曾於郡医師会立病院へ就職する事になりました。病院ではすでに、兄が診療放射線技師として働いていましたので（現在も働いております）少しでも気恥ずかしい気持ちもありましたが、就職すると親戚のおじさんから「2人して医師会病院に就職とは立派なものだ」と何かひとつやり遂げたかのように褒められて、誇らしく思った事を覚えています。そして臨床検査技師だと伝えると親戚のおじさんは「それはなんだ？何をするんだ？レントゲンとどう違うんだ？」と矢継ぎ早の質問に困ってしまいました。当時（昭和61年）はまだコレステロールや中性脂肪と言っても一般の人には分かりにくい時代でした、ましてやそれを測定する人となれば、おじさんにはチンプンカンプンだったのでしょうか。あれから37年経ち、臨床検査技師がメジャーになったかと言うと・・・そうでもないように思います。ただ新型コロナウイルス感染症出現のおかげで、PCRの検査する人として臨床検査技師の名称が紹介され、少しでも認知度が上がったのではないかと思います。ただ、PCRの方がはるかに有名になりましたが。

臨床検査技師とは英語で Medical Technologist(MT)と呼ばれ、病院等で種々の臨床検査を行う技術者を云います。臨床検査は元々医師によって行われていました。検査資格制度以前から検査業務に携わる者はいましたが、戦時中軍医から衛生兵へ伝授され、陸海空軍病院から厚生省へ移管され国立病院となった衛生兵経験者の身分保障制度として、検体検査を行う技術者「衛生検査技師」が都道府県知事免許として誕生しました。その後心電図等の生理検査業務を加え臨床検査技師が昭和45年に厚生大臣免許となりました。

臨床検査技師が法的に行える業務を紹介します。血液、尿、便、喀痰、髄液、精液などの検体検査と心電図、超音波、筋電図、脳波などの生理検査があります。



臨床検査技師6名と助手1名で
私たちがきっちりやり遂げます！！

検体検査には、生化学的検査、血液学的検査、免疫学的検査、微生物学的検査、病理学的検査、尿・糞便等一般検査、遺伝子関連・染色体検査等があります。

生理学的検査には心電図検査、心音図検査、脳波検査、筋電図検査、基礎代謝検査、呼吸機能検査、脳波検査、熱画像検査、眼振電図検査、重心動揺計検査、超音波検査、MRI、眼底写真検査、毛細管抵抗試験検査、経皮的血液ガス分圧検査、聴力検査、基準嗅覚検査及び静脈性嗅覚検査、電気的味覚検査及びびろ紙ディスク法による味覚定量検査があります。

当院は6名の臨床検査技師が生化学・血液・免疫・一般・病理細胞診・輸血・生理検査部門をそれぞれ担当し業務を行っています。院内業務にとどまらず、新学期には学童心臓検診があり、曾於地区内（輝北を含む）の小・中・高校を訪問し心電図検査を行います。さらに2市1町の大腸がん検診（数千名の便潜血検査）も日常業務と並行して行っています。また平成26年法改正により、診療行為の補助として新たに検体採取業務が加えられました。

新型コロナやインフルエンザ感染疑いの患者から直接検体（鼻咽頭ぬぐい液）を採取できるようになり、当院では医師の指示のもと検体採取から検査結果報告までを臨床検査技師が一貫して行います。令和4年の実績では3,800件以上を6人の技師で行いました。もちろん、これまで検体採取に従事してこられた医師・看護師の方々の理解とサポートのおかげです。これからも「診療行為の補助」は制限範囲が緩和され業務として増えていくと思われます。臨床検査技師が貢献でき、医師の負担軽減となるよう研鑽を積んでまいります。

医師会員の先生方におかれましては、平素より臨床検査室をご利用いただき誠にありがとうございます。集配スタッフが定時に訪問し、お預かりした検体（おもに採血検体）をその日のうちに検査し、翌営業日にご報告させて頂いております。お急ぎの場合はFAXで仮報告を、ご希望があればメールでのご報告も致しております。

今後ともご利用よろしくお願いたします。





義務化となったサイバーセキュリティ対策と今後の取り組み

総務 花北 忠明

令和5年4月に改正された医療法に伴い、今年度の医療法第25条第1項の規定に基づく立入検査では、【医療機関におけるサイバーセキュリティ確保の確認】が追加され、サイバーセキュリティ確保について支援・助言やリモートメンテナンスを利用している機器の有無やシステムのアクセス権限の設定など、現状確認や未実施分の翌年度までの目標設定を行いました。

さて、最近世の中を騒がしているサイバー攻撃の被害として多数を占めるのは、ランサムウェアと呼ばれるデータを暗号化し、復元する対価として身代金を要求するものです。侵入経路の約6割は、VPN機器の脆弱性（最新の状態にアップデートできていない）を狙い不正アクセスするケースです。

当院では、電子カルテ稼働から約4年が経過し、必要な情報をリアルタイムで確認ができ、判読性も向上し間違いも防止できる等、診療に不可欠なツールとなっています。そうしたシステムをより安全に継続して使用するためには、職員への教育も必要不可欠です。

ハード面では機器の適切なアップデート作業（※この作業は、電子カルテを停止しての作業も考えられます）を行い、同時に職員向けの勉強会を実施する予定です。電子カルテや検査機器のネットワークと院内で使用するインターネットは分離していますが、電子カルテに限らずインターネット利用端末でも不必要なアクセスは行わないなど、職員一人一人のITリテラシーの向上に努め、患者のプライバシーとデータセキュリティを最優先に運用していきたいと考えています。

※下記表は他院で実際にランサムウェアに感染し、システムダウンした**実例**です。

【システムがダウンした影響】



・入院患者の診療録は倉庫から旧型パソコンを引っ張り出し記録

・患者に手書きしてもらい受け付け

・診療費の計算ができない

・診療費は後日請求とした

・検査結果、X線などの画像が見られず、過去のデータと比較できない

約8万5,000人分の
電子カルテ等が閲覧不能

・再度検査していたら間に合わない患者は、電子カルテがないまま、手術に踏み切った

・外来患者のカルテは全て手書き

・救急を含む新規患者の受け入れ中止

・外来は予約患者のみに制限

・対応できない患者は近隣病院に依頼

・予定していた休日の輪番当番医を近隣病院に依頼

・氏名、治療経過、内服薬などを一から聞き取るため、普段の倍以上の時間がかかる

・病状を知るため、他院に宛てた紹介状を取り寄せた

・転記ミスや記入漏れが多く、近隣薬局からの確認連絡が多くなった

SOMPO リスクマネジメント株式会社 サイバーセキュリティセミナー資料より抜粋

私のかけはし！



広報誌『かけはし』にちなんだ職員イチオシの橋を紹介するこちらのコーナー♪今回ご紹介するのは、牛根大橋です。2008年に開通し、当時九州最大、全国でも3番目に大きいバランスドアーチ橋でした。（現在は全国8位、九州2位になっています…）青空と白い雲、桜島も一緒にパチリ。写真提供は総務部H係長でした。

職員募集！



曾於医師会立病院では、現在下記の職種について一緒に働く仲間を募集しています。

- ・医師(内科)
- ・看護師(准看護師含)
- ・臨床工学技士
- ・管理栄養士
- ・作業療法士
- ・リハビリ助手
- ・診療情報管理士
- ・病院給食調理スタッフ
- ・事務職員
- ・看護助手・介護福祉士

お問い合わせ先: ☎070-7664-8594(曾於医師会 中央総務部)

見学も随時行っております。お気軽にお問い合わせください。

【画像ならび文書等の転載、複製、改変等は禁止します。】